タイトル：バージョン管理ホスティングサービスと連携するコース管理システムの開発

Extension of Course Management System for Code Repository Web Services

コース管理システム（CMS）をソフトウェア開発教育の現場で活用しようとすると，学習者の学習状況を詳細に把握できるというCMSの利点が生かされないという問題が発生する．ソフトウェア開発教育でよく用いられるバージョン管理システム上での学習者の活動を，CMS上では把握できないからである．そこで本研究では，バージョン管理ホスティングサービスであるGitHubと連携するように，オープンソースのCMSであるMoodleを拡張する．この拡張によって，学習者のGitHub上での活動をMoodle上で把握できるようにすることを目指す．

学生会員の入会申請をしてから，発表を登録してください．

該当分野

8-2-11「コース管理システム」

2-3-09「人的要因，教育」

講演者には君の情報を

学校名（英語）はChiba Institute of Technology

講演者申込区分は「学生会員」

指導教官は矢吹太朗（この情報は，「共著者1」にも書いてください）

Taro Yabuki

千葉工業大学

社会システム科学部プロジェクトマネジメント学科

taro.yabuki@it-chiba.ac.jp

電話：047-478-0417

バージョン管理によるLMS教育について

ソフトウェア開発教育におけるLMSの活用を目的とする．ソフトウェア開発教育にバージョン管理システムを導入し，それを利用した学習の状況を，LMS上で把握できるようなシステムの開発を行う．現状，別々のシステムとしてバージョン管理システムとLMSが存在しているので，教師側が双方を確認する手間がある．そのため，実際のソフトウェア開発のツールを利用した学習はあまりされていない．これらのシステムをLMSで一括に管理が行えるようにすることで教師側の負担が軽減され，学習者にも実際にソフトウェア開発で使われているツールが利用できることで，知識の向上が図れると考えられる．